

取扱施工説明書

施工・使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

このたびは、当社製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございました。

安全上のご注意

施工・使用前に、下記注意事項をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

注意 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または物的損害が発生する危険な状態が生じることが想定されます。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

- 必ず実行** 必ず実行していただく「強制」を示します。
- 禁止** してはいけない「禁止」を示します。
- 注意** 気をつけていただきたい「注意」を示します。

施工上のご注意

注意	
必ず実行	<ul style="list-style-type: none"> ●器の外周には必ずシリコンコーキング等のシール材(防カビタイプ)を塗布してください。漏水により家財等を濡らす財産損害発生恐れがあります。 ●器は平らなカウンターに設置してください。破損および故障の恐れがあります。
禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●器に日光や照明が直接当たる場所には設置しないでください。 ●施工の際、器に物をのせたり、強い衝撃(ものを落とす、たたくなど)を与えたりしないでください。破損および故障の恐れがあります。
注意	<ul style="list-style-type: none"> ●カウンターが器の重量を考慮した構造であるかご確認ください。 ●本品と合わせて使用する水栓金具は、必ず止水栓(流量調整のできる器具)を取付けた配管に設置してください。 ●施工後の確認を必ず行ってください。 ●施工完了後は、使用を開始されるまでの間に器表面に傷や汚れが付かないよう、梱包のエアーマット等で保護してください。

使用上のご注意

注意	
禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●器に物をのせたり、強い衝撃(ものを落とす、たたくなど)を与えたりしないでください。破損および故障の恐れがあります。 ●器に日光や照明が直接当たらないようにしてください。 ●金属たわしやクレンザー・磨き粉等粒子の粗い洗剤、酸性・アルカリ性・塩素系の洗剤、ベンジン、油やアルコール等は、表面を傷めますので使用しないでください。 ●器に熱湯や油、シンナー等の溶剤を流さないでください。破損や故障、漏水により家財等を濡らす財産損害発生恐れがあります。 ●金属類(ヘアピン・カミソリの刃等)を放置しないでください。サビが付着して取れなくなる場合があります。 ●器にひびが入った状態で使用しないでください。破損したり、破損部でケガをする恐れがあります。 ●排水栓を外した状態で、洗髪したりペットを洗ったりしないでください。毛がポップアップの機能部に絡まり、故障の原因となります。
注意	<ul style="list-style-type: none"> ●汚れを長く放置すると表面に汚れがしみ込むことがあります。こまめに水拭きをしてお手入れをしてください。 ●オーバーフローホース内に長期間水が溜まるとニオイの原因となります。定期的な水を流す等して長期間水が溜まらないようにしてください。

製品同梱明細

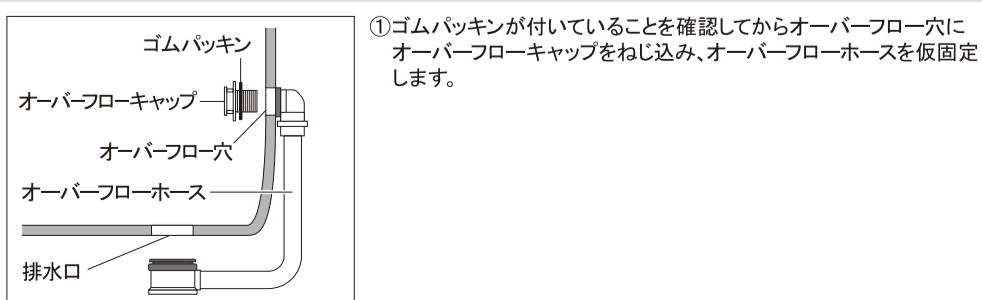
施工前に、下記の同梱部材があることをご確認ください。

<p>器</p> <p>オーバーフローキャップ</p> <p>オーバーフローホース</p>	<p>オーバーフローキャップ</p> <p>オーバーフローホース</p>
<p>493-208</p> <p>専用排水上部セット (水栓連結タイプ)</p>	<p>493-208H</p> <p>専用排水上部セット (ポップアップ独立つまみタイプ)</p>

*品番によっては、図と製品の形状が一部異なります。

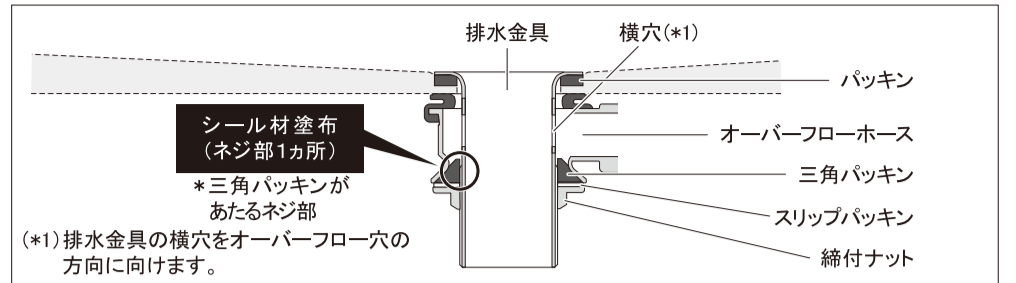
取付方法

1. オーバーフローホース・排水金具を取付けます。



取付方法(つづき)

1. オーバーフローホース・排水金具を取付けます。(つづき)



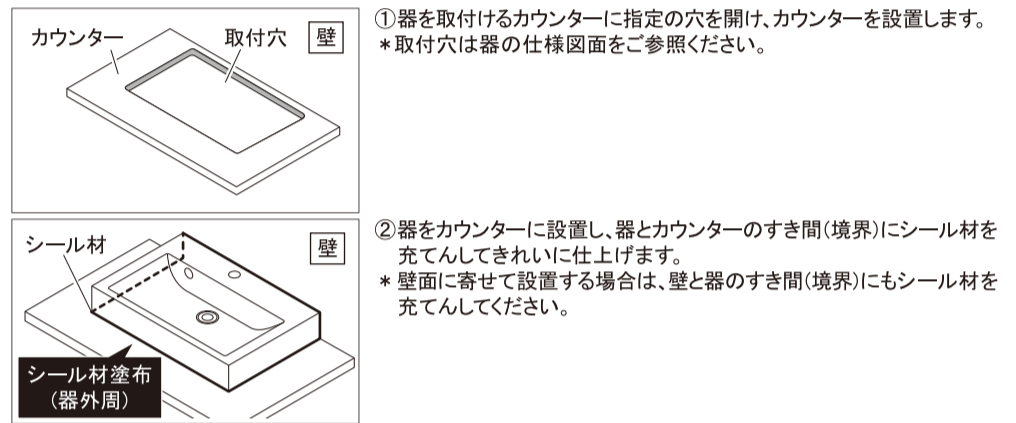
- ② 排水金具のネジ部にパッキンを通し、器の排水口に上から差込みます。
- ③ 器の下からオーバーフローホース・三角パッキン・スリップパッキンの順に排水金具ネジ部を通して、締付ナットでしっかりと固定します。
- ④ 仮固定していたオーバーフローキャップをしっかりと締付けて固定します。

注意

- 排水金具取付けの際は、漏水を防止するため、必ず指定位置に、シリコンコーキング等のシール材を塗布してください。
- 締付ナットは、器の破損を防止するため、ゴムパッキンの弾性を失わない程度に締付けてください。
- オーバーフローホースを固定する際は、できる限りホースがたるまないようにして固定してください。ホースがたるんでいると、水がホース内に溜まり、ニオイの原因となります。

たるまないようにする

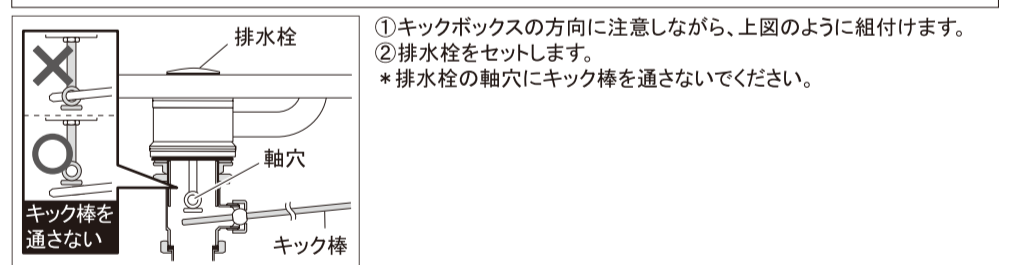
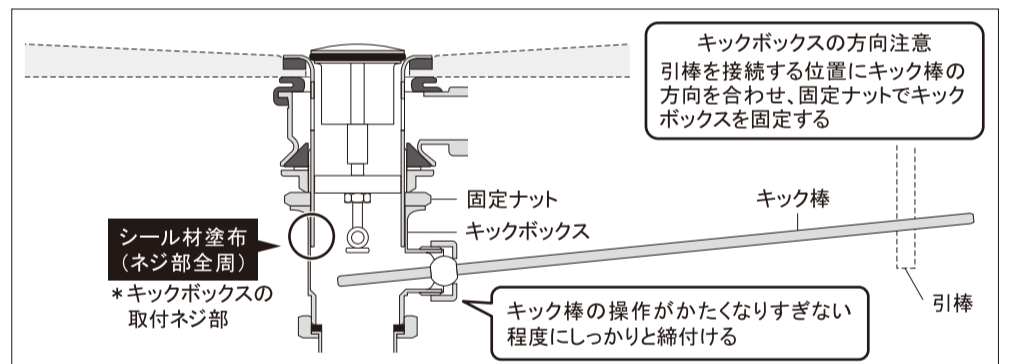
2. 器を取付けます。



* 3.~6. は品番により施工手順が異なります。

493-208の場合

3. キックボックス・キック棒を取付けます。



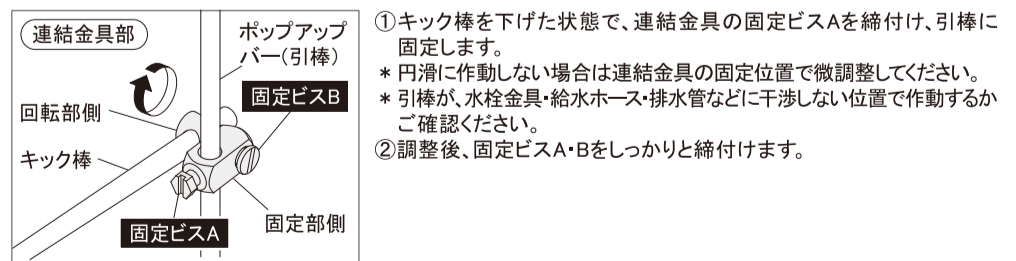
注意

- 排水金具取付けの際は、漏水を防止するため、必ず指定位置に、シリコンコーキング等のシール材を塗布してください。
- キックボックスを締付ける際は、キック棒を持って締付けしないでください。キック棒のパッキン部に無理な力が掛かり漏水する恐れがあります。

4. 水栓金具(別売)を取付けます。

*詳細は器具の説明書をご参照ください。

5. 連結金具を接続します。



6. 排水トラップ(別売)を接続します。

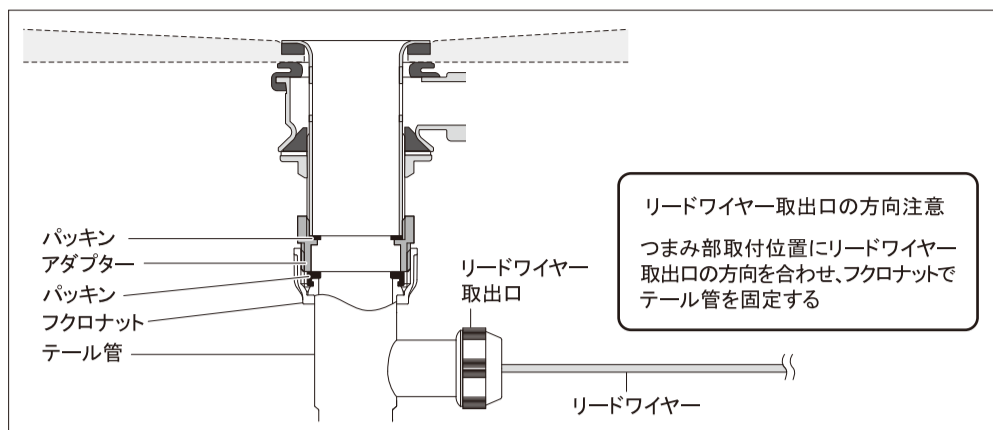
*詳細は器具の説明書をご参照ください。

注意

施工後の確認が完了するまでは、水栓金具を吐水させたりしたままその場を離れないでください。漏水により家財等を濡らす財産損害発生恐れがあります。

493-208Hの場合

3. テール管を取付けます。

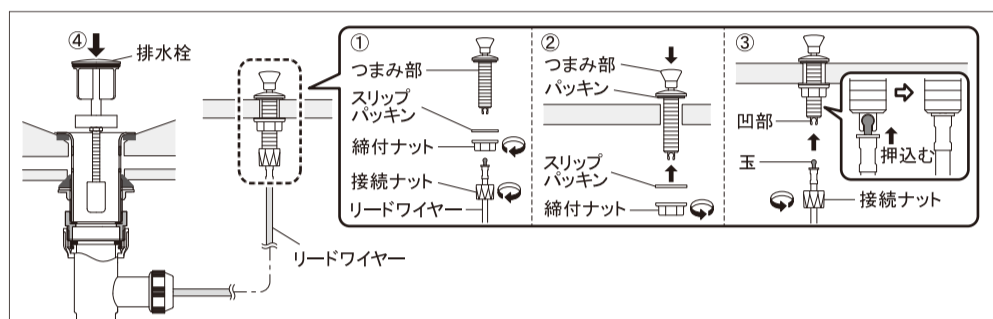


リードワイヤー取出口の方向に注意しながら、図のように組付けます。

注意

- アダプター取付けの際は、締付けすぎないようにご注意ください。破損する恐れがあります。
- リードワイヤーは、引張ったり、ねじったり、折り曲げたりしないでください。
- リードワイヤーに物を引掛けたりしないでください。

4. つまみ部を取付けます。



- ① 接続ナットをゆるめ、つまみ部からリードワイヤー・締付ナット・スリップパッキンを取外します。
* つまみ部からリードワイヤーを取外す際、無理に引張らないでください。
- ② 取付穴の上からつまみ部を差込み、スリップパッキンを通して、締付ナットで固定します。
- ③ リードワイヤー先端の玉をつまみ部の凹部に引っ掛けて押込み、接続ナットで接続します。
- ④ 排水栓をセットします。

5. 水栓金具(別売)を取付けます。

* 詳細は器具の説明書をご参照ください。

6. 排水トラップ(別売)を接続します。

* 詳細は器具の説明書をご参照ください。

注意

施工後の確認が完了するまでは、水栓金具を吐水させたりしたままその場を離れないでください。漏水により家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

施工後の確認

施工後は、止水栓または元栓を開いて通水し、必ず下記確認をしてください。

- ① 器の取付状態の確認
ガタつきがないか確認します。
- ② 水栓の吐水量の確認、および調整
水栓を吐水させ適正な吐水量であるか確認します。
* 水ハネが激しい場合は、止水栓を絞ってください。
* 排水栓を閉じた状態で、吐水量がオーバーフロー穴の排水能力を上回る(あふれる)場合は、適正水量になるまで止水栓を絞ってください。
- ③ 漏水・排水の確認
通水・排水経路の接続各部に漏水がないか、排水がスムーズに行われるか確認します。
* 詳細は、各器具の説明書をご参照ください。

必ず実行

メンテナンス等で止水栓を閉じ、再び開く場合は、必ず水栓の吐水量を確認・調整してください。
(施工後の確認 ②)

排水栓の確認

* 排水栓の確認方法は品番により異なります。

493-208の場合

① つまみ部を数回操作し、排水栓の開閉を確認します。

排水栓の操作方法

つまみ部を上げると「閉じ」、押下げると「開き」ます。

* 排水栓の開閉がうまくいかない場合は、下記を参考に排水栓の長さを調節してください。

排水栓長さの調節方法

- ① ロックナットをゆるめます。
- ② 軸の長さを調節します。軸を時計回りにまわすと短く、反時計回りにまわすと長くなります。
- つまみ部を上げるときに排水栓が十分に閉じない場合は、「A」寸法を短くしてください。
- つまみ部を押下げたときに排水栓が十分に開かない場合は、「A」寸法を長くしてください。
- ③ 再度ロックナットをしっかりと締付けて固定します。

② 器に水を溜めてから排水し、各部から漏水がないか確認します。漏水がある場合は、その箇所を施工し直してください。

493-208Hの場合

① つまみ部を数回操作し、排水栓の開閉を確認します。

排水栓の操作方法

つまみ部を押下げると「閉じ」、上げると「開き」ます。

* 排水栓の開閉がうまくいかない場合は、下記を参考に排水栓の長さを調節してください。

排水栓長さの調節方法

- ① ロックナットをゆるめます。
- ② ボルトの長さを調節します。ボルトを時計回りにまわすと短く、反時計回りにまわすと長くなります。
- つまみ部を上げるときに排水栓が十分に閉じない場合は、「A」寸法を短くしてください。
- つまみ部を押下げたときに排水栓が十分に開かない場合は、「A」寸法を長くしてください。
- ③ 再度ロックナットをしっかりと締付けて固定します。

② 器に水を溜めてから排水し、各部から漏水がないか確認します。漏水がある場合は、その箇所を施工し直してください。